

ARIBニュース575号 (2007.01.16)

ARIBから のお知らせ

最新のARIB STDの英語翻訳版が利用できます

当会が事務局を担当するデジタル放送技術国際普及部会 (DiBEG) ホームページから最新のARIB STD英語翻訳版の無料ダウンロードが可能になりましたのでお知らせいたします。

無料ダウンロードが可能なARIB STD英語翻訳版は下記の通りです。

NO	Specification Number	Title	Version	Japanese	English
1	STD-B10	SERVICE INFORMATION FOR DIGITAL BROADCASTING SYSTEM	Version 4.3	2006.09.28	2006.12.25
2	STD-B21	RECEIVER FOR DIGITAL BROADCASTING (Desirable Specification)	Version 4.4	2005.09.25	2006.12.25
3	STD-B23	APPLICATION EXECUTION ENGINE PLATFORM FOR DIGITAL BROADCASTING	Version 1.1	2004.02.05	2006.12.25
4	STD-B24	DATA CODING AND TRANSMISSION SPECIFICATION FOR DIGITAL BROADCASTING	Version 5.0	2006.05.29	2006.12.25
5	STD-B25	CONDITIONAL ACCESS SYSTEM SPECIFICATIONS FOR DIGITAL BROADCASTING	Version 4.2	2006.05.29	2006.12.25
6	STD-B31	TRANSMISSION SYSTEM FOR DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING	Version 1.6	2005.11.30	2006.12.25
7	STD-B32	VIDEO CODING, AUDIO CODING AND MULTIPLEXING SPECIFICATIONS FOR DIGITAL BROADCASTING	Version 1.9	2006.03.14	2006.12.25
8	TR-B14	OPERATIONAL GUIDELINES FOR DIGITAL TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING	Version 2.8	2006.05.29	2006.12.25

ダウンロードは下記のURLを参照願います。

<<http://www.dibeg.org/aribstd/ARIBSTD.htm>>

デジタル放送技術セミナー開催のご案内
「ワンセグサービスの現状—NHKと在京キー局の特徴と取り組み」
主催：社団法人 電子情報技術産業協会

社団法人電子情報技術産業協会がJEITA会員各社、放送事業者、関係機関等の今後のデジタル放送に係わられる方に向けてセミナーを開催いたします。皆様の参加をお願いいたします。

- 1 概要 : ワンセグサービスの現状—NHKと在京キー局の特徴と取り組み
- 2 日時 : 平成19年2月8日 (木) 13:00~17:30 (受付開始 12:40~)
- 3 場所 : 機械振興会館 地下2F ホール
<<http://www.jspmi.or.jp/kaikan.htm>>
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 TEL 03-3434-8216
- 4 受講料 : 無料 (事前登録制)
- 5 定員 : 150名
- 6 締切日 : 平成19年1月25日 (木)
定員になり次第、期限に関わらず締め切りとさせていただきます。
- 7 問合せ先 : 社団法人 電子情報技術産業協会 産業・社会システム部
社会システムグループ 北田
<E-mail : k-kitada@jeita.or.jp> TEL 03-3518-6429

詳細はJEITA <<http://www.jeita.or.jp/japanese/exhibit/2007/0208/0208.pdf>>を参照願います。

電波行政の動き

「情報通信産業の経済動向報告 (2006年第3四半期)」の公表
(平成18年12月27日付け総務省報道発表から)

総務省では、2006年第3四半期 (7~9月期) の情報通信産業の動向を取りまとめ公表しました。

【概要】

2006年第3四半期報告では、第2四半期報告 (平成18年9月28日公表) に引き続き、国内マクロ経済と情報通信産業の動向についてとりまとめました。

【情報通信産業の経済動向のポイント】

情報通信産業全体としては、緩やかな拡大が継続。景況感も好調を維持。ただし、情報通信関連在庫が大幅に増加。

	方向	コメント
情報通信産業の景況感	↗	情報通信製造業の景況感是好調を維持。通信業の景況感も若干悪化したものの高水準を維持。

情報通信産業の活動状況	↗	情報通信製造業は生産・出荷ともに拡大傾向を継続。ただし、在庫も大幅増加。 また、情報通信サービス業は緩やかな拡大から横ばいへ。
情報通信産業の設備投資動向	↗	情報通信産業の投資は増加基調。情報通信製造業及び情報通信業は投資の増加幅が大幅拡大、情報通信機械器具製造業も大幅増加を維持。
情報通信産業の雇用状況	↗	若干増加傾向が減速した前期に比べて回復傾向を拡大。情報通信機械器具製造業は減少から増加へ。
情報通信産業の賃金動向	↗	情報通信業及び電子・デバイス製造業では増加幅が縮小。情報通信機械器具製造業は減少から増加へ。
情報通信関連の消費動向	↘	全体は増加基調から減少へ転換。コンテンツ、ICT関連機器、固定電話通信料が減少。携帯電話通信料、放送受信料、インターネット接続料は増加。
情報通信関連の投資動向	↘	全体は増加基調から減少へ転換。通信機及び電子計算機が減少。電子応用装置、電子計測器半導体製造装置は増加。
情報通信関連の輸出入動向	→	情報通信関連のウェイト低下傾向は継続。情報通信関連貿易額は輸出入ともに増加傾向を維持。情報通信関連サービスの貿易収支は赤字が継続。
情報通信関連の物価動向	↘	全般的な下落傾向は継続。消費者物価と企業物価は下落幅が縮小。サービス物価のみ若干下落幅が拡大。

(注) 矢印の上向きは「増加ないし上昇」、下向きは「減少ないし低下」を表す。

詳細は<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/061227_11.html>を参照願います。

1.5GHz 帯の周波数有効利用のための技術的条件

情報通信審議会からの一部答申

(平成18年12月21日付け総務省報道発表から)

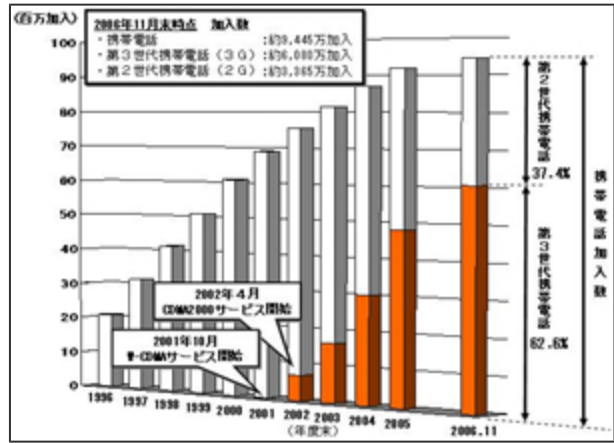
総務省は、情報通信審議会から、平成7年7月²⁴日付け電気通信技術審議会諮問第81号「携帯電話等の周波数有効利用方策」の一部答申として「1.5GHz 帯の周波数有効利用のための技術的条件」に関する答申を受けました。

1 背景

情報通信審議会が平成14年8月に答申した「中長期における電波利用の展望と行政が果たすべき役割」（電波政策ビジョン）においては、移動通信システムの今後の高度化・利用拡大に向けた周波数の確保について検討するとともに、移動通信システムの必要周波数帯幅の算出を行い、中期的（平

成20年)には約330~340MHz幅が必要であることが示されています。

また、第3世代携帯電話(3G)については、平成18年11月末時点で加入数が6,000万に達するとともに、3Gの加入数が携帯電話加入数全体の6割を超えるなど、第2世代(2G)から3Gへの移行が急速に進展しています。これに伴い、総務省では、平成17年に、3G用周波数として、1.7GHz帯(FDD方式)及び2GHz帯(TDD方式)の追加割当てを措置していますが、将来の更なる3Gの需要に対応するため、新たに3G用周波数を確保することが必要となっています。



さらに、「携帯電話サービスにおけるエリア整備の在り方に関する調査研究会」報告書(平成15年3月)では、携帯電話のエリア整備を促す方策の一つとして無線によるエントランス回線の導入を提言しているところです。

2 経緯

総務省は、平成17年10月に公表した「周波数再編アクションプラン(改定版)」において、現在2G及び自営無線に使用されている1.5GHz帯について、携帯電話の3Gへの高度化とそのための1.5GHz帯再編の推進が必要との方針を明確化しています。

この方針を踏まえ、1.5GHz帯における3Gへの高度化及び非再生方式エントランス回線※の導入に向けた周波数再編を進めるため、平成18年2月27日、情報通信審議会は「1.5GHz帯の周波数有効利用のための技術的条件」について審議を開始し、本日、総務省はその審議の結果として答申を受けました。

※：非再生方式エントランス回線とは、アクセス区間とエントランス区間のインターフェースにおいて、CDMA波を周波数変換し直接中継する簡易な中継方式を用いたエントランス回線をいう。

3 答申の概要

答申の概要の抜粋は、次のとおりです。

1.5GHz帯の再編シナリオ

1.5GHz帯を使用する各無線システム間の所要ガードバンド幅等を算出した結果に基づき、既存の2Gを3Gへ高度化し周波数を有効利用するための各無線システムが使用する周波数配置を検討し、図のように配置することが適当であると結論。



図 1.5GHz帯の再編シナリオ

適当であると結論。

注：継続検討のバンドにおいて
は、例えば、現行のMCAデジタル
の利用周波数を当該継続検討
のバンド内の高い周波数に移行するシナリオ、3G用周波数のひっ迫に対応す
るため、更に3G用に追加割当てを行うシナリオなどが考えられる。

4. 今後の予定

本答申を踏まえ、1.5GHz帯における3G（FDD方式）の導入等に向け、技術
基準の策定・周波数割当計画の変更等を進めていく予定です。

詳細は<http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/061221_2.html>を参照願いま
す。

編集後記

今年の初詣は大田区の羽田七福いなりめぐりの参拝をして来ました。この羽田
七福いなりめぐりは毎年1月1日～同5日までの5日間（午前9時～午後3
時）に行われる催し物です。



羽田七福いなりめぐり
御集印帳

この期間、各神社にて御集印帳に御朱印を頂い
て、最後に穴守稲荷の御朱印を受けると記念品が
もらえます。七福いなりと玉川弁財天の合わせ
て8つ、約5 kmを2時間かけて回りました。幸い
天候にも恵まれて無事に参拝を終わることが出来
ました。関心のある方は穴守稲荷のHPを参照し
て下さい。

穴守稲荷のHP <<http://www.anamori.jp/inari.html>>

終わりに感動した映画の紹介します。『硫黄島か
らの手紙』と『武士の一分』という映画を見て来
ました。『男たちの大和』以来久々の映画鑑賞でした。両作品とも男の生き様
を描いた感動の作品であり、今の時代に生きている幸せを実感させられる作品
でした。

(澤井 利和)